＜第４０７８回＞
目的地：藤原岳・御池岳（鈴鹿）
担当者：松岡康文
実施日：2020 年 10 月 24 日(土)～25 日(日)
形　式：テント泊山行
費　用：¥8,500.-
参加者：5 名
岩谷多恵子・江口晶子・松岡康文・松島恭治・山本勉

行　程：
10 月 24 日　天気：曇り時々晴れ
[近鉄]鶴橋(8:13) 大阪線特急 賢島行 ⇒(9:33)伊勢中川 乗換 名古屋行 ⇒四日市⇒(10:18)富田 [三岐鉄道] (10:26)⇒(11:17)西藤原
休憩所<昼食 30 分> 大貝戸道(表登山道) 登山口(12:30)→(14:00)八合目→(14:50)藤原山荘[テント設営](15:40)　→(16:00)藤原岳→(16:30)藤原山荘 テント泊

10 月 25 日　天気：曇り時々晴れ
藤原山荘(5:45)→(6:40)頭陀ヶ平→(6:55)白船峠→(7:35)天ヶ平→(8:35)御池岳→(9:05)ボタンブチ→(11:00)真ノ谷(11:30)→(12:20)天狗岩→(12:50)藤原山荘[テント撤収](13:35)→大貝戸道→(15:25)登山口[三岐鉄道] 西藤原(15:38)⇒冨田 [近鉄] ⇒四日市⇒津 乗換 特急 大阪難波行 (16:59)⇒(18:50)鶴橋 解散

感　想：
【24 日】
　近鉄特急で鶴橋から四日市へ、趣ある三岐鉄道で、西藤原にお昼前に到着。登山口の立派な休憩所で昼食後、約 1000m を一気に黙々と登りました。秋らしい心地よい天気でした。大貝戸道(表登山道)は、整備されており、一合毎に道標があったので、二合毎に約 30 分間隔で休憩を取りました。松岡のザックは 19Kg あり、非常水 2 リットル持っていたのですが、他の人に 1 リットル持ってもらうなど軽量化策をしておくべきだったと反省しました。九合目からは異常に長くキツかったですが、みんなの頑張りで予定通り 15 時前に藤原山荘に到着できました。ソロテントは藤原山荘の目の前に設営しました。今回、5 名のうち 3 名が、新品のソロテントの初お試しでした。江口さんはコロナの支援金 10 万円で Finetrack のとても軽いテントを購入されており、たくさんテント泊に参加して元を取らなくては！一泊 2 万円とか言われていました。設営は山本さん、松島さんは手際よく早かったですが、松岡はソロテント初体験で、設営に 40 分もかかってしまい、反省点です。日の入り前に、藤原岳へピストンしました。眺望はよかったです。山本さんから竜ヶ岳方面への縦走ルートを教えてもらいましたが、すごい下りでキツそうでした。
　夕食は、個人食は寂しいなあと思っていましたが、やっぱり宴会はみんなでと！藤原山荘内で盛り上がりました。松岡のアルファ米は 10 分かかりましたが、松島さんのフリーズドライ米は 3 分でできあがり、いいなあと思いました。岩谷さんの山崎のウィスキー、松島さんのフライパンのハム炒め、美味しかったです。ほろ酔い気分の中、松岡のテントが風で飛ばされるアクシデントがあり、みなさんに設営を助けてもらいました。ペグによる固定が甘かったと反省しています。朝方、ソロテントは寒いように感じました。
【25 日】
　4 時半に起床し、朝食後、5 時 45 分に出発。テントは朝露を乾かすために、戻ってきてから回収することにしました。なるほど！と勉強になりました。朝方、少し雨が降っていたのでカッパを着けましたが、天気はすぐに良くなりました。藤原山荘から天ヶ平までは道標やマークがしっかりとあり、迷うことはありませんでした。紅葉は始まったばかりという感じでしたが、少し楽しめました。天ヶ平から御池岳までは、300m を登りましたが、土が濡れて滑りやすく、意外にキツかったです。御池岳の頂上は、残念ながら雲に覆われ眺望無しでした。山本さんから、ここに来たら展望がよいボタンブチに行かなダメやで！とアドバイスがありました。先頭を山本さんに変わってもらい向かうと、何と晴れてきました！ボタンブチは、みんながオーッと声を上げるぐらい、断崖の絶景と、滋賀県の琵琶湖と、三重県の伊勢湾が同時に見れる眺望の良さで、みんなで喜びました。
　御池岳からの帰路は往路とは別ルートで、真ノ谷を果敢に激下りし、お目当ての真ノ谷のテント場を見ることができました。道標やマークが無いコースで、やっぱり地図読みは大切だと痛感しました。天狗岩も眺めよく、紅葉を楽しめました。藤原山荘に帰着し、テント回収＆昼食の後、下りましたが、足はガクガクながら 2 時間ぐらいで西藤原に到着。予定から 30 分の遅れだけで済んでホッとしました。今回、いろんな経験ができ、ハードだけどとても充実した山行でした。参加者の皆さん、本当にどうもありがとうございました！